

令和4年第7回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 令和4年7月20日(水)

開 会 15時00分

閉 会 15時45分

場 所 横田庁舎 2階 第一会議室

出席委員 福田充雄教育委員 谷尻教育委員 荒金教育委員 高橋教育委員

委員会事務局 高尾学校再編推進課長 岸本教育魅力課課長補佐

長谷川学校再編推進課長補佐

教育長

本日、一校を除いて終業式を迎えた。しかし、家族が陽性反応、あるいは検査対象という事で今日の終業式に参加できなかった児童が各学校で何名かいる。これもしばらくは続くと思っている。

参加者4名

※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言

※会議録署名委員 福田委員

これより議事に入る。

報告第8号 奥出雲町就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱制定について

事務局

※資料により説明

教育長

質疑等はあるか。

(意義なし)

事務局

その他

・教育大綱の改訂について

※資料で説明

昨年のところでは教育委員会の議題で検討・協議等を行ったが、まとめる事が出来ず停滞した状況。

教育大綱については、出来るだけ早期の改訂を考えているが、勝田町長が9月で退任するため、現時点で早期にまとめることは難しいと思っている。先般、教育長、課長、課長補佐の教育委員会のスタッフで協議を行い、現状は、とにかくたたき台を作り、課の中で検討を進めていくことになった。具体的には、月1回以上の定例協議会を行い、準備を進める。新町長就任後、教育委員にも参加する会議を複数回

<p>教育長</p>	<p>開催した上で改訂すべきであろうという話になった。あくまでも予定であるが、新町長就任後に 4 回程度定例協議会を行い、出来れば令和 5 年度の途中で策定を出来ればと考えている。</p> <p>教育大綱策定に教育版タウンミーティングの開催は必須ではないが、新町長就任後、町民も含めて話を聞かせてもらえる機会が出来ればその意見も反映できるのではないかという事で予定に入れている。</p> <p>1 年前くらいに教育大綱の案を提示したが、学校の建設場所の問題が解決しないためこの状態で止まっている。本来は、町長部局の仕事だが、いつまでも放っておくわけにはいかないため、教育委員会サイドとして策定するために動き出している。</p> <p>文言等の変更はあるかもしれないが、いままでの町の目指す子ども像や町民像は大きく変化させない。</p> <p>学校教育と社会教育という 2 つの大きな部分があり、そこに幼児教育をどのように取り入れていくかという考え方をしている。これについては、総合計画が完成しており、これと全く違う物を作るわけにはいかないと思っているため、出来るだけ整合性を取り、現代にそぐわない箇所は修正を加えながら案を作っていく。</p>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校視察について、再編統合について <p>※資料により説明</p> <p>8 月 5 日に出雲市立朝陽小学校に視察に行き、仁多地域統合小学校の建設に向けて参考にしたい。</p> <p>質問事項については、校舎の整備の全体計画、事業費の財源、業者の決定方法等を予定している。</p>
<p>教育長</p>	<p>質疑等はあるか。</p>
<p>福田委員</p>	<p>奥出雲町の児童数の推移を見た時、横田地域で一番多い時の児童数は 31 名か。</p>
<p>事務局</p>	<p>その通り。しかし、仁多地域の場合、令和 8 年に 4 年生が 38 名になる。仮にその 38 名のうち特別支援学級に 3 名入った場合、35 名クラスになる可能性があるため、それを考慮に入れる必要がある。いずれにしても並べ方として、6×5 列の 30 席等、区切りがあると思う。</p>
<p>教育長</p>	<p>ブック PC が導入された関係で机を拡張する器具を利用している学校が数校ある。奥出雲町内の学校においては、今後、そのように机を利用していく事になると考えている。そのため、このような状況で仮に 5 年生 6 年生が 35 名、習字をしようとする指導ができない可能性がある。</p> <p>視察に行く朝陽小学校は、東小学校と檜山小学校が統合している。ここの児童は、旧平田地区で唯一、一畑電鉄を利用して通学している。</p>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・学校再編統合委員会について <p>明日から横田地域の学校再編統合委員会で再編に向けた話し合いを進めていきたいと思っている。明日の第1回目は、総務部会や通学部会等々、それぞれの役割分担を行い、9月から通学方法の詳細や校名等、本格的に始動を開始する。</p>
教育長	<p>学識経験者について。</p> <p>横田地区の学識経験者については、元教育長の安部隆氏へ依頼をした。</p> <p>仁多地域についても建設場所が決定次第、別途依頼をし、広い立場から意見を貰えるような形を取ろうと思っている。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT 交代について <p>平成27年から7年間勤務していたベロニカが8月2日に任期満了のため、帰国する。</p> <p>後任としてローレン・トンプソン・アリシア。27日に来庁予定。</p> <p>キャメロンは任期中のため引き続き。</p>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスの関係について <p>県内感染者数が増加したため、7月11日から県の対応が大きく変わった。内容としては、児童福祉施設、老人福祉施設、病院施設を除き、幅広い検査を行わない。濃厚接触者についても家族以外の追跡調査は行わないという基本方針が変わった。</p> <p>それを受け、奥出雲町でも7月13日（水）に臨時の校長会を開催。奥出雲町内の学校施設でコロナが発生した場合、保健所の指示や検査を待つことが出来なくなっているため、基本的には、学校の判断を優先する事を確認した。</p> <p>7月14日（木）町内小学校の男児の陽性が判明。15日に男児が体調を崩して受診した結果、陽性が判明。16日にも2名の陽性が判明。7月17日（日）には、5名の陽性が判明。5名以上の陽性が判明した為、クラスターの可能性があり、学校施設でクラスターが発生した場合は幅広い検査を行うという保健所の方針に基づき幅広い検査を行い、18日、19日に7名の陽性が判明した。昨日の段階で合計16名の児童が感染。</p> <p>1学期間で5日間、本来の授業日が足りていない。校長と話し合い、2学期の始業式を早める、あるいは、感染状況を踏まえて冬休みに補充をするという2案で対応する。</p> <p>プールについては、仁多地域は各学校にプールがあるため、夏休み期間中のプール開放は、保護者の判断にゆだねることにしている。三成地区に関しては、現状を踏まえて開放しないことになっている。横田地域については、横田小学校にのみプールがあるため、教育委員会として感染拡大防止の観点からプールの開放は取りやめという判断をしている。</p> <p>その他質問は？</p>

福田委員	再編場所について議会の意向はどうなっているのか。
事務局	<p>進展していない。新町長の判断にゆだねると町長が判断したため現状進展していない。</p> <p>学校再編・再開発特別委員会の小田川委員長とはお互いなんらかの話し合いを続けていきたいと話をしている。</p> <p>朝陽小学校の視察にも議員から 10 名の参加があるため、少しずつ意見交換を行い進めていきたいと思っている。</p>
教育長	<p>仁多地域内でも決して一枚岩ではなく、公式に表明されている内容と個人の思いが異なっている場合がある。それでも議会をまとめるしかない。今は横田地域の再編統合を進めていくしか手が無いと思う。</p> <p>通学方法を確保していく中で一番難しいのは運転手の確保。再編統合が決定次第、すぐに動き出す必要がある。町内外の運送業者とのヒアリングを通じて様々な事を模索しながら進めている。</p>
事務局	<p>横田地域については、令和 7 年から馬木方面のバスを 1 便増便する見込み。現在、奥出雲交通と協議をしている。</p> <p>仁多地域については、布勢地区、阿井地区、亀嵩地区、それぞれ 1 車両ずつ増便が必要。それは、専用のスクールバス等で対応を予定しているため、最低でも 3 名の運転手の確保が必要。スクールバスは、青ナンバーではなく、大型一種免許であればよいため、奥出雲交通がそのような方に積極的に声をかけている。</p> <p>町づくり産業課の公共交通計画と合わせて、学校再編推進課の安部課長補佐がいタクシーにヒアリングに行っている。仮の話だが、奥出雲交通にスクールバスを 1 便運行してもらえるか等のヒアリングを進めている。</p>
教育長	<p>備品の整理等、それぞれが現在出来る範囲で一生懸命出来る事をしている。</p> <p>先般、県の市町村教育委員会の総会があり、谷尻委員と研修に参加した。そのことについて何かあるか。</p>
谷尻委員	もっと現場の話が聞けると思っていたが、本に書いてあるような文言の羅列だった。
教育長	総会同日に教育委員会を開催し、一緒に研修を受けるという方法もあると話をした。検討していきたい。

< 次回定例会は8月17日（水）午後15時00分より（予定） >

会 議 録 署 名

署名委員

福 田 充 雄

教育長

松 田 武 彦

